



## ご挨拶

「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」は、1992年、武蔵野銀行創業40周年の記念事業の一つとして、「県内の自然環境保全及び創出のための活動を行う皆さまに資金面からのお手伝いを」との趣旨に基づき創設されました。

これまで300を超える自然環境保全・創出活動への助成を行い、2022年7月、おかげさまで創設30周年を迎えることができました。これもひとえに多くの皆さまからの温かいご支援ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

助成先の皆さまの活動を紹介する「ひこばえ」は、地元埼玉における自然環境保全・創出の輪が大きく広がっていくことを願い、基金創設5周年の1997年に第1集を発刊いたしました。

以来、5年毎に発刊し本基金の歩みを県民の皆さまにお伝えしてまいりましたが、創設30周年を迎えました本年度も関係者の皆さまに多大なるご協力をいただき、第6集発刊の運びとなりました。

第5集を発刊しました2018年3月以降の5年間を顧みますと、サステナビリティ、すなわち持続可能性の考え方が世界的に浸透し、政府・地方自治体はもとより、企業や教育機関などの行動がドラスティックに変容した、まさに画期的な期間でした。

今という時代を生きる私たちにとって、「カーボンニュートラル」や「ネイチャーポジティブ」の考え方は人類共通の規範であり、果たすべき未来への約束といっても過言ではありません。

このようななか、私ども武蔵野銀行では、地域とともに持続的成長を目指す「サステナビリティ経営」を標榜し、試行錯誤を重ねながらも、日々積極的に取り組んでおります。

そして、気候変動への対応と生物多様性の維持向上は、サステナビリティの土台をなす最重要課題の一つであり、本基金の果たすべき役割や存在意義の大きさを改めて認識しているところです。

加えて、私たちは2020年から3年余に亘り、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍を経験

しました。毎日の行動が大きく制約されるなか、利便性の過度な追求や都市への一極集中に依存した経済・社会の脆さを肌身に感じ、自然と調和した穏やかな日常を希求していく価値観や生活様式に深い関心が寄せられることとなりました。

私たちの「ふるさと」埼玉県には、発達した交通網や優れた産業基盤、快適な住環境がある一方、緑なす秩父の山々、人々の暮らしと共存してきた雑木林が点在する武蔵野の台地・平地、県内を巡るあまたの河川などがあります。豊かな自然、そして多様な生態系は私たちの日々の営みに多くの恵みをもたらしてくれています。

こうした自然環境と生態系の恵みを損なうことなく、次世代に継承していくことは容易なことではなく、地道な活動の弛まぬ積み重ねこそが未来への架け橋となっていくと信じております。

本基金の助成先の皆さまは、地域に根差した活動に永年取組んでこられた先導者であり、私どもは深甚なる敬意を表してやみません。

今後も武蔵野銀行は本基金による助成を通じ、一先でも多くの団体の活動を支援していく所存です。

結びにあたり、今後皆さまの益々のご発展とご健勝を祈念いたしますとともに、ご多忙の折にもかかわらず、本誌編集にご協力いただきました方々に心より感謝申し上げます、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。



株式会社武蔵野銀行  
頭取 長堀和正